

A 1 1 1 中 級 (オンライン聴講あり)		実務に則した欧州特許の取得方法 欧州への特許出願・権利化、権利化後手続きの流れ 実務から見た欧州特許の取得方法	
講 師	弁理士 高橋 明雄 (弁理士法人グローバル化®-東京 代表、元 キヤノン(株) 知的財産法務本部)		
日程・場所	東京会場 → オンライン配信 (受講者端末) 2025 年 2 月 20 日 (木)		
時 間	半日間 (13:30~16:30)		
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html		
定 員	東京会場 24 名 / オンライン 30 名 (先着順申し込み)		
受講料	16,000 円 (税込 17,600 円)		
対 象	知的財産部門の担当者 (海外出願経験者)		
内 容			
<p>「自社の海外事業が米国のみでなく欧州へも広がってきた」、「欧州への特許出願は手続きが煩雑であると聞いている」、「今までは米国を含む海外への特許出願は特許事務所任せだったが、自社でも対応できるように勉強したい、・・・」等のお悩みはありませんか？</p> <p>本セミナーは、知的財産部門の海外出願経験者の方を対象に、実務に沿った権利化手続きを想定しながら、煩雑な欧州特許出願の流れ、出願の際のクレームの考え方、補正のやり方、コスト、権利化後の手続などを日米の特許制度等との比較も交え、実務に精通した講師が分かり易く解説します。</p>			
プログラム			
1. イントロダクション	• 欧州特許出願について (直接出願、EPC 出願) の流れと、欧州特許制度を利用できる国について	4. 拒絶理由対応	• 補正要件 • 時期
2. 手続きの流れ	• 出願時のクレームについて • EESR の対応 • 審査請求 • 特許要件 (新規性、進歩性) • 特許許可通知	5. メインリクエスト、追加的リクエスト特許許可通知	• 通知後の手続き
3. コストについて	• 出願維持年金 • 審査促進 (早期審査など)	6. 権利化後の手続	• 各国移行、翻訳文の提出 • 欧州特許 • 異議申立 • 手続きの続行、回復 • 訴訟について (統一裁判所ほか)
		7. まとめ	
注) 講師の都合により内容に変更がある場合があります**			

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。

本会場： URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

オンライン： URL: https://www.jpds.co.jp/online_seminar/application.html

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。